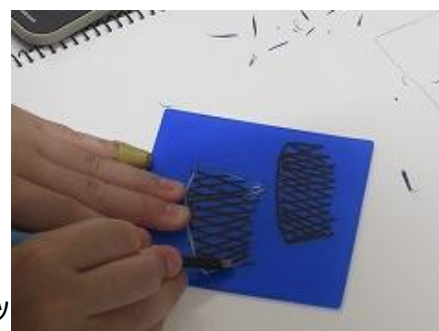


令和7年9月11日(木)



昨日行われた第50期生徒会役員選挙は、放課後に開票作業が行われました。その様子を見させていただきましたが、選挙管理委員が責任をもって一票一票確認しながら作業を進めていました。結果は、立候補した8名全員が信任されました。当選したみなさん、おめでとうございます。今回の選挙で特筆すべきことは、無効票がゼロだったことです。生徒一人一人が、投票のルールを守り、真摯に取り組んだ結果です。素晴らしいことです。明日、12日には任命式を行います。

みんなの学級では、美術の時間に切子（きりこ）のコースターづくりに取り組んでいました。切子とは、ガラスの表面にカット（削り）を入れて模様を施す技法です。また、その技法によって作られたガラス工芸品をさします。江戸切子などがその一例で、繊細でシャープな模様が特徴です。今回の教材は、ガラスではなく、樹脂素材のシートを用意しました。色が付いた表面をカットしていくと、削った部分が透明になり、まるでガラスのような輝きを見せます。生徒は、自分で考えた模様を下書きしてから、安全に気を付けて慎重に彫刻刀で掘り進めていました。



2年生の教室から歌が聞こえてきました。英語の授業で生徒たちが歌っていたのは、スティービー・ワンダーの「I just call to say I love you」です。1984年に発表されたこの曲は、27年間投獄されていた南アフリカの政治家（後の大統領）ネルソン・マンデラに捧げるために作られた楽曲と言われています。ネルソン・マンデラは、アパルトヘイト政策による黒人への差別や迫害に負けず、黒人の人権を守るため、反アパルトヘイト運動に注力しました。



その結果、国家反逆罪により終身刑を言い渡され、刑務所に収監され強制労働を課されました。1990年に釈放され、1994年の選挙において大統領に選出されました。ネルソン・マンデラが一貫して主張していたのは、全人種の融和です。このことは、6つ原色に彩られた南アフリカの新国旗に表れています。

1年生の理科は、理科室で実験に取り組んでました。本時の目標は、化学反応により発生した気体の性質を調べることです。本時は、「石灰石＋塩酸」、「二酸化マンガン＋過酸化水素水」で、それぞれ気体を発生させました。気体を採取する方法は、水上置換です。グループで協力して、空気が混入しないように気を付けながら採取しました。採取した気体は無色なので、ただだけでは何かわかりません。また、万が一、体に害があるといけないので、おいをかぐこともご法度です。では、どうするか。



小学校では、気体の性質を調べるために、燃えるかどうかを確かめましたので、今回もそれを採用します。気体を採取した試験管の中に火をつけた線香を入れて反応を確かめました。